

・自由進度学習による学び（松浦昭彦）

●概要

学習課題を提示した上でチェックポイントを示し、生徒が学習課題に対する個々の目標を立てて追究していくことで、学びの深まりを求めた。ICT を活用し、個々の学習を見取りながら個人の学びを支え、追究への自由度を高めた。

●授業展開

- ① 課題提示
- ② 授業前アンケート
- ③ 探究計画（各自）
- ④ 本時の目標確認
- ⑤ 振り返り（自己調整）
- ⑥ ②～⑤を時数分行う
- ⑦ まとめ共有
- ⑧ 授業後アンケート

<①課題提示>

学習課題：教科書上で植物は、なぜP34のように分類される？

4h（分類はどのような経緯で）

教科書 P14 ～ P35

チェックポイント

- ・現在の分類のポイントは？
- ・別の分類で分けるとどうなる？
- ・別の分類と比較して、メリット、デメリットは？
- ・具体的に様々な植物を分類してみるとどんな「同じ」「違い」が見出せる？

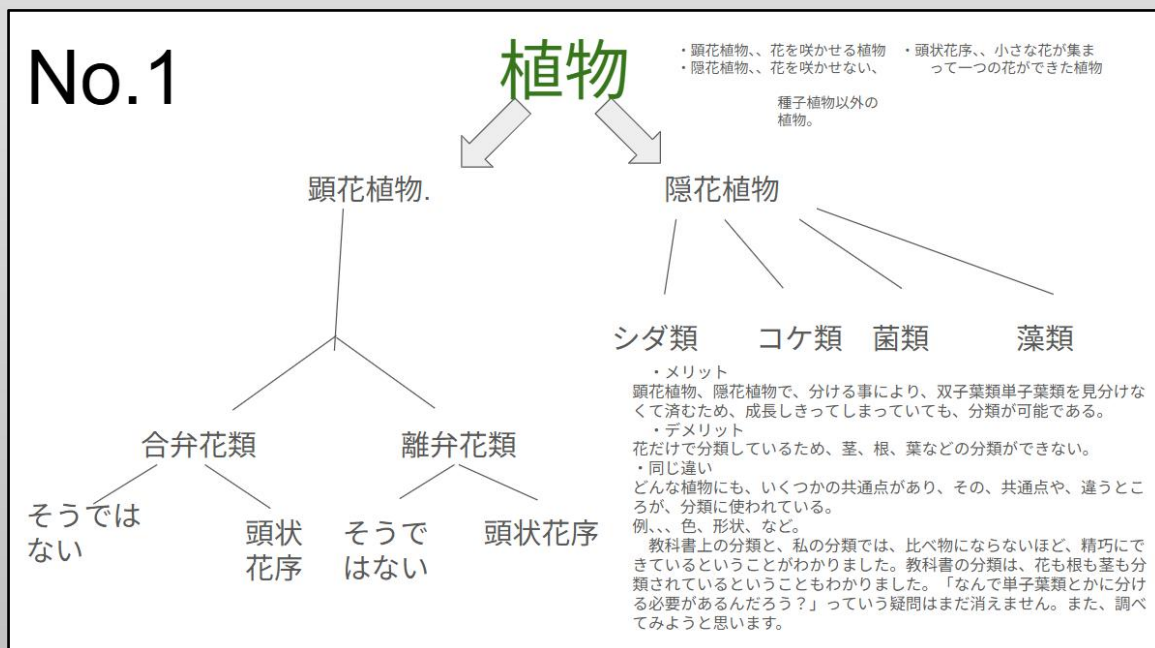
●成果アンケート結果から

授業前は、植物分類の大局や自由な考察、基本的な疑問点（なぜ分類するのか、分類のメリットは何か）に焦点を当て、柔軟な発想で観察や想像を広げている。

授業後は、それに比べて具体的な分類基準（子葉の有無、花弁や胚珠、葉脈・根の詳細など）に基づいた実践的かつ経験的な検証の仕方が目立ち、教科書の体系の優位性やその完成度に対する評価が強く打ち出されている。

⇒自ら行動し、学びを深めることで教科書の分類に対する納得感が強まった。

●学習課題に対する生徒成果物



（執筆：松浦）